



高橋 勝雄さん(78)
養子さん(78)
登米町・鉄西
1966(昭和41)年11月入籍

いつまでも元気でゆっくり旅行へ

★二人のなれ初めは
【勝雄】仲人さんの紹介でお見合いだったね。
★お互いの第一印象は
【養子】真面目でおどなしそう...

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「ハートの中の原石」

小学4年生あたりから祖母に「孝男は次男だから東京へ行くんだ」と言われて育ち、疑いもなく東京へ出て来て50年振り返ると、人生随分と意味のないことをたくさんしてき...

清水孝男さん(68)

東京いしこし会副会長
石越町(第二)出身



その後、建築設計会社に再就職。当時は月100時間の残業が当たり前でほとほと疲れてしまい、35歳の時5カ月の休暇をもらい、650ccのオートバイで神奈川県青葉台から時計回りで日本一周の旅に出発しました。行きがけ山口県秋吉台で、私のようにオートバイで日本一周中のカップルと出会い、長い旅に向かう自分に大きな勇気をくれました。北海道から南下し、岩手県で宮沢賢治の「下ノ畑二居リマス」跡に立ち寄り、石越に着いた時には1万2千キロを走破していました。
現在は、六十の手習いで古い民謡を謡っています。これも63歳の春の日の晩に、こども頃の祝い事や建前の時に謡っていたおじさんの高音質な「さんさ時雨」が耳元で聞こえたからです。今ではその高音質な声を手探りに謡っています。「斉太郎節」の一節「松島のサーヨーオ瑞巖寺程の寺もないトエー」は東日本大震災で多くの物を失ってしまった人々の叫びの唄に聞こえます。東京へ行くんだと言われ遊び育った石越。随分意味のない繰り返しの中で立ち寄った石越。そんな石越町が私のハートの中にある原石です。

おらほの物産

とよま観光物産センター「遠山之里」



「おかえりモネ」のタイトルロゴが入った新作のお菓子や缶バッチ、マグネットなどがお土産に人気です。

今月は、とよま観光物産センター「遠山之里」の山田忠則取締役管理部長にお話を伺いました。
Q「遠山之里」の特徴などについて教えてください
登米市の観光拠点である「みやぎの明治村」観光のお土産品だけでなく、日常の買い物品として地元で採れた旬の野菜や山菜なども取り扱っています。



登米産の味噌を混ぜ込んだ「森のまちチーズ」

ズ」はスティックチーズに登米産の味噌が混ぜ込んであり、濃厚なチーズのとろける舌触りと後味にまるやかな味噌の風味を感じると評判です。その他にも産直コーナーでは、旬のキュウリやサヤインゲンなどの夏野菜、タケノコなどの山菜が新鮮でおススメです。



おかえりモネのロゴ入り缶バッチはこれからの季節におすすめ

Q開催中のイベントなどはありますか
「おかえりモネ」のあらすじやロケ風景、ヒロイン役の清原果耶さんのプロフィールを紹介するパネルを展示していますので楽しんでください。
【問い合わせ】とよま観光物産センター「遠山之里」
0220(52)5566

まちの文芸

作品募集!
7月号は俳句川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、5月31日(月)まで応募してください。作品氏名には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

春霞残雪孕む栗駒山の
いまにかがやく億年の光
デイサービス拒否断絶が前向きに
いつの間にか回数増して
侘び寂の風流俳句詠むよりも
生活短歌一首煌々
春風に輝る麦のウェーブに
心のみぬ見事なパノラマ
咲き極む梅の小枝を手折り来て
夫とふたりの夕餉に飾る
遠藤 光昌 (迫)
管原たろ子 (迫)
鈴木 厳優 (登米)
丸山 米子 (東和)
熊谷たかよ (中田)

山野草見守るように風車
カラカラまわり心なごます
弥勒山桜は今に満ちるらし
行く人もなく静まりて見ゆ
三ツ星だいただきもののほうれんそ
シェフいたなら涙ポロポロ
朝日浴び緑の絨毯この早苗
豊作願ひ露払いする
影法師並んで歩く坂道を
下れば広がる青田のうねり
熊谷タヘ子 (中田)
千葉 源治 (中田)
千葉 洋子 (中田)
齋藤フキ子 (石越)
三上久美子 (南方)